



外国人と地域で



在日韓国人福祉会

共に生きることを考える

～韓国人高齢者の支援事例を通して～

日本では「外国人はいつか母国に帰るだろう」というイメージがありますが、長く日本で暮らす外国人高齢者にとって、母国に戻ることは大きなカルチャーショックとなる場合があります。そのため、日本で最期まで暮らしたいと考える方が増えています。一方で、言葉や文化の違い、制度への理解不足により、必要な介護支援につながれない方も少なくありません。講演では、「在日韓国人福祉会」の活動内容を紹介しつつ、支援事例を通して外国人高齢者の現状や課題をお伝えします。「外国人と地域で共に生きるとは何か」を一緒に考えましょう。



キム ヨンジャ

金 榮子 さん

在日韓国人福祉会 代表
(株)インマヌエル 取締役

ツチダ メグミ

土田 愛美 さん

在日韓国人福祉会 福祉館館長
多文化共生コーディネーター

社会福祉士・介護福祉士。長年日本で暮らす外国人高齢者の生活相談や認知症支援、訪問介護、居場所づくりに取り組む。

地域と連携し、誰もが安心して年を重ねられる街づくりを目指して活動している。

社会福祉主事・介護福祉士。地域で暮らす外国人高齢者の居場所を作り、相談支援や食事提供、学びの場づくりを行う。

ボランティア調整や行政との連携も担い、新宿区多文化共生まちづくり会議区民委員として街づくりに取り組んでいる。

12月15日

月

4限

14:20～15:50

対象:東京外国語大学 学生のみなさん (@tufs.ac.jp のアドレスが必要)

場所:ボランティア活動スペース(VOLAS) 研究講義棟206-1

申込:<https://forms.gle/GAG4ipDjpyH1Sszk6>

申込締切:12月15日(月)10:00

